

花火とは音で迫力も、姿で迫力も、給付音で迫力も、そして、その目目の長良、花火大会の火を心地にしていた。午後7時分ごろ、カウフウの音、トントウととも、花火が二、三打上がったが、歓声は薄く、集まった人たちは一旦、夜更け空を見上げた。友人、訪れた羽鳥昌隆は、十一年の辻々、土丘には、花火は大きな響きと、顔を浮かけた。打上げ、幅600mの超ウルトラビッグスター、ミライなど、趣向を凝らした花火、グループが次々と展開され、大勢の人の目の前や頭上、ひかる年に、一度の光景、見入られた。去る人々の愛を助けた富嶺短「32」の曼珠知風沢沢市は「子たちも喜んでた。来ても来た。来た」と満足そうに話した。

A large, vibrant fireworks display exploding in the night sky over a city. The fireworks are primarily white and green, with some red bursts visible on the left side. The explosions create a dense, overlapping pattern of light trails against the dark night sky. In the foreground, the silhouettes of buildings and trees are visible, suggesting the fireworks are being viewed from a city street or park.

夜空に咲いた大輪の笑顔が眩しすぎる若たち
 『8月後、約3分間編・稲盛司』

夜空に咲いた大輪に笑顔を见せる若者たち
 〓8日午後7時35分、同(撮影・稲木悠司)

ドローンでプロポーズ



北村真那さん(左)にドローンを
使ってプロポーズした稲垣智暁
さん(本人提供)

にドローン演出の場でプロボースというドローン会社に問い合わせたところ、ぎぎ長良川花火大会を提案された。花火大会の舞台にも憧れたあつたほか、令和8年8月8日という未だかりで縁起のいい日にも決め手になったという。

会場では、ドローン約500機が飛び回り、「またさん」僕と結婚してください」の文字が夜空に浮か

んだ。プロボース後の北村さんは「めっちゃうれしかった。いまだに現実かどうか分かっていない。ほろろと泣きました。とっても幸せですと喜んだ。稲垣さんは「イメージ映像は見ていたが、実際に見る想像以上だった。川と夜景の上でとても素晴らしい最高のロケーションだった。初めての長良川花火だったか、これを機に毎年来たい」と話していた。

花火を始める前橋英知事、前次、8日午後6時25分間

ている」、村瀬頭は「花火は年々工夫されてお、存分に楽しんでもらったのではないかと」話した。



点火式には、大会実行委員会長の柴橋正直殿、市市長、村瀬雄哉、岐阜商工会議会議長矢島繁殿、新聞社社長、大島守一郎、日新聞社長が臨んできた。

カウントダウンに合わせ、4人が点火ボタンを押すと、楽曲とともに大輪が舞い上がり、会場から拍手が湧き起こった。紫橋市母屋は「今年はドローを飛ばす」など新たな趣向を凝らし、

点火ボタンを押す（から左）
矢島繁蔵新聞社社長、村瀬雄哉、岐阜商工会議会議長、柴橋正直、岐阜市長、大島守一郎、日新聞社長。8月16日午後7時31分、同。

知事ら堪能
「しみじみ」

会場には江崎植友知事らが浴衣姿で訪れ、迫力満点の長良川の花火を堪能した。江崎知事は、童謡のように花火がストーリーになっているのも良かった。平和をテーマにしており、しみじみ見られた」と語った。

来賓として、土井フナコ、シンザングループの池田重樹社長、グループFEO、大垣共立銀行の林敏治頭取、

第4回「長良川花火大会」は、国史の如くに無事に終了する。委員長は「花火大会」は、近畿の通商、岐阜県、岐阜県農林部、岐阜中・北・南農協、岐阜市消防本部、岐阜市・北防犯協会、関係機関、地元自治会、地城住民の賛美。この協賛は大いに企業の支援との協力に感謝。お礼申し上げます。等々

岐阜県長良川花火大会実行委員会

J-A岐阜中央会の理事・宏代 沢井俊光社長も観覧した。理事長会長、共同通信社

無断複製・転載を禁じます